

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 トレイダーズホールディングス株式会社
 コード番号 8704 URL <http://www.tradershd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 金丸 勲
 (氏名) 新妻 正幸

TEL 03-4330-4700

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,494	7.9	1,490	7.9	68	△50.4	23	△74.3	7	△92.6
25年3月期第2四半期	1,385	△11.8	1,381	△11.8	137	—	90	—	106	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 23百万円 (△78.3%) 25年3月期第2四半期 107百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.18	0.17
25年3月期第2四半期	2.41	—

(注) 当社は平成25年5月27日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,317	823	5.7
25年3月期	13,645	664	4.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 820百万円 25年3月期 660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00				
26年3月期(予想)			—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
平成26年3月期の配当予想額は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,900	5.0	100	△64.9	40	△81.6	10	△95.6	0.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は平成25年5月27日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない平成26年3月期の業績予想における通期の1株当たり当期純利益は、20円18銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	47,299,700 株	25年3月期	44,435,800 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	14,400 株	25年3月期	14,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	44,536,629 株	25年3月期2Q	44,421,400 株

(注) 当社は平成25年5月27日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用範囲の変更	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)におけるわが国経済は、平成25年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針」に基づく経済財政運営が始動し、公共投資が堅調に推移するとともに、大企業を中心とした企業収益の改善、個人消費の持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調をたどりまし。一方、海外景気は弱い回復傾向にあり、一部に底堅さも見られたものの、米国の財政問題への対応及び金融政策の動向による影響、中国やその他新興国経済の成長率鈍化、欧州政府債務問題の再燃懸念、中東・北アフリカの地政学的リスクの高まり等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

外国為替市場におきましては、米国の量的緩和の縮小期待を受けた米ドル買いにより平成25年7月上旬に1米ドル＝101円台の高値をつけたものの、7月31日の米連邦公開市場委員会(FOMC)声明で早期の量的緩和の縮小開始が示唆されなかったことを受け円高方向へと転じまし。8月下旬には、米国がシリアに軍事介入する可能性が高まり地政学的リスクを意識した世界的なリスク回避の流れを受け、1米ドル＝96円台まで円が買われましたが、その後の事態鎮静化で1米ドル＝100円台まで値を戻しまし。しかし、9月18日のFOMC声明で市場コンセンサスとなっていた量的緩和の縮小開始が見送られたことに加え、米国の予算協議の遅延による政府機関の一部閉鎖懸念が台頭したことで米ドルはさらに下落し、当第2四半期末は、1米ドル＝98円21銭で取引を終了しまし。また、ユーロ/円相場は、米国の財政協議の混乱や金融政策を巡る不透明感から米ドル買いが見送られ、消去法的に欧州通貨が選好されたため、7月から9月にかけて1ユーロ＝127円台～134円台で底堅い動きとなり、当第2四半期末は、1ユーロ＝132円82銭で取引を終了しまし。

このような市場環境のもと、当社グループは、子会社トレイダーズ証券株式会社において、『みんなのFX』(外国為替証拠金取引)及び『みんなのバイナリー』(外国為替オプション取引)を主軸事業として収益の拡大を図ってまいりました。当第2四半期における外国為替市場は、第1四半期に比べ比較的穏やかな値動きとなり、当期間における『みんなのFX』の顧客との取引量は、過去最高を記録した第1四半期に比べ約30%減少しましたが、『みんなのバイナリー』を合わせたトレーディング損益は1,411,489千円(前年同期比4.0%増)と堅調に推移し、営業収益合計は、前年同期を109,023千円上回る1,494,210千円(前年同期比7.9%増)となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、外国為替取引事業の収益に連動して増加する外国為替取引システム利用料が422,346千円(前年同期比37.2%増)と大きく増加したことに加え、取引関係費370,575千円(前年同期比8.5%増)、人件費355,582千円(前年同期比16.2%増)等の費用が増加したことから、前年同期を178,239千円上回る1,422,532千円(前年同期比14.3%増)の計上となった結果、営業利益は68,168千円となりました。

営業外収益は、為替差益3,621千円の計上等により4,836千円となり、営業外費用は、平成25年8月19日に発行しました第三者割当による転換社債型新株予約権付社債にかかる資金調達費用17,600千円の計上に加え、当第2四半期累計期間より持分法適用関連会社となった株式会社ZEエナジーに関し、受注プラントの納品前で先行費用がかさんだため持分法による投資損失7,407千円を計上した結果、経常利益は23,212千円となりました。

特別利益は、金融商品取引責任準備金戻入29,449千円の計上等により34,005千円となりました。一方、特別損失は、東京金融取引所が提供する取引所為替証拠金取引の自社サービスである『みんなの365』の取扱いを終了したため、41,090千円を事業整理損として計上しまし。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、7,876千円の四半期純利益を計上しまし。

なお、外国為替取引事業の当四半期末における顧客口座数、預り資産は以下のとおりとなりました。平成25年9月に『みんなの365』の取扱いを終了したことから、前連結会計年度末に比べ顧客口座数が15,643口座減少しております。

外国為替取引事業 顧客口座数 208,915口座 (前期末比 15,643口座減)
 預り資産 13,522,874千円 (前期末比 1,072,061千円増)

(2) 財政状態に関する説明

① 連結財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して671,627千円増加し、14,317,071千円となりました。これは主に、『みんなの365』取扱い終了に伴い東京金融取引所に直接預託していた顧客資金を返金したため443,426千円減少したものの、『みんなのFX』及び『みんなのバイナリー』に係る分別金信託額が増加したため、預託金が546,000千円増加したことに加え、転換社債型新株予約権付社債500,000千円の発行に伴い現金及び預金が457,657千円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して512,999千円増加し、13,493,804千円となりました。これは主に、短期借

入金及び長期借入金の返済により104,079千円減少したものの、外国為替受入証拠金が『みんなの365』取扱い終了に伴う減少を上回って『みんなのFX』及び『みんなのバイナリー』に係る増加が寄与し155,244千円増加したこと、及び転換社債型新株予約権付社債が362,500千円(137,500千円は株式に転換)増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して158,627千円増加し、823,267千円となりました。これは主に、当第2四半期連結累計期間に発行した500,000千円の転換社債型新株予約権付社債のうち137,500千円が株式に転換されたこと、投資有価証券の評価益増加によりその他有価証券評価差額金が15,369千円増加したこと、及び四半期純利益が7,876千円となったことによるものです。

② 連結キャッシュ・フローの分析

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、244,730千円の収入超過となりました。これは主に、利息の支払による減少22,349千円、事業譲渡損の支出による減少21,000千円などがあったものの、税金等調整前当期純利益の計上による16,128千円の増加及び減価償却費の計上による46,557千円の増加などにより資金が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、135,760千円の支出超過となりました。これは主に、ソフトウェア開発に伴う66,171千円の支出、持分法適用関連会社への出資による31,500千円の支出、貸付けによる30,000千円の支出などにより資金が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、348,687千円の収入超過となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の返済による支出各82,500千円、21,579千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出29,632千円などがあったものの、転換社債型新株予約権付社債の発行による手取額482,400千円の資金調達を行ったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して457,657千円増加し902,230千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月14日の「平成25年3月期 決算短信」で平成26年3月期通期の連結業績予想を公表いたしましたが、当第2四半期連結累計期間における当期純利益等が、同連結業績予想を下回る水準で推移しており、通期においても下回る見通しであることから平成26年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成25年11月5日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

① 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立された子会社トレーダーズフィナンシャルテクノロジー株式会社を連結の範囲に含めております。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、総発行議決権数の20%を取得した株式会社Z E エナジーを持分法適用の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	444,573	902,230
預託金	11,466,000	12,012,000
顧客分別金信託	11,464,000	12,007,000
その他の預託金	2,000	5,000
短期差入保証金	992,729	579,868
外国為替差入証拠金	987,729	579,868
その他の差入保証金	5,000	—
その他	127,026	131,529
貸倒引当金	△0	△4
流動資産計	13,030,329	13,625,624
固定資産		
有形固定資産	148,821	164,124
建物（純額）	21,136	25,423
器具備品（純額）	24,136	18,017
車両運搬具（純額）	2,017	1,513
リース資産（純額）	101,531	119,170
無形固定資産	161,240	188,092
ソフトウェア	37,669	11,252
その他	123,571	176,840
投資その他の資産	305,052	339,229
投資有価証券	227,667	273,238
長期立替金	526,802	517,213
その他	73,424	52,674
貸倒引当金	△522,842	△503,896
固定資産計	615,115	691,447
資産合計	13,645,444	14,317,071
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	78,172	117,716
預り金	10,615	8,015
顧客からの預り金	1,111	180
その他の預り金	9,503	7,835
受入保証金	11,874,851	12,030,096
外国為替受入証拠金	11,874,851	12,030,096
短期借入金	520,967	302,721
リース債務	46,304	60,162
未払法人税等	8,390	14,113
その他	168,083	233,686
流動負債計	12,707,385	12,766,512

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
固定負債		
長期借入金	154,533	268,700
社債	—	362,500
退職給付引当金	13,476	13,968
リース債務	65,411	63,783
その他	7,633	15,424
固定負債計	241,055	724,376
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	32,364	2,914
特別法上の準備金計	32,364	2,914
負債合計	12,980,805	13,493,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,020,186	3,088,936
資本剰余金	2,287,078	2,355,828
利益剰余金	△4,686,651	△4,678,774
自己株式	△3,148	△3,148
株主資本合計	617,465	762,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,617	57,987
その他の包括利益累計額合計	42,617	57,987
新株予約権	4,556	2,437
純資産合計	664,639	823,267
負債・純資産合計	13,645,444	14,317,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益		
受入手数料	25,701	79,270
トレーディング損益	1,356,660	1,411,489
金融収益	2,075	2,375
その他	749	1,075
営業収益計	1,385,186	1,494,210
金融費用	3,509	3,509
純営業収益	1,381,677	1,490,701
販売費及び一般管理費		
取引関係費	341,432	370,575
人件費	305,952	355,582
不動産関係費	525,979	575,387
事務費	10,145	31,062
減価償却費	37,110	46,557
租税公課	14,696	18,445
その他	8,975	24,921
販売費及び一般管理費合計	1,244,293	1,422,532
営業利益	137,383	68,168
営業外収益		
受取利息及び配当金	107	387
還付加算金	396	289
受取補償金	300	—
為替差益	—	3,621
その他	417	538
営業外収益合計	1,220	4,836
営業外費用		
支払利息	16,389	24,415
投資事業組合運用損	1,948	—
為替差損	2,021	—
資金調達費用	26,495	17,600
持分法による投資損失	—	7,407
その他	1,425	368
営業外費用合計	48,280	49,792
経常利益	90,323	23,212
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	18,377	29,449
その他	1,335	4,556
特別利益計	19,713	34,005
特別損失		
固定資産除却損	1,727	—
事業整理損	2	41,090
その他	143	—
特別損失計	1,872	41,090
税金等調整前四半期純利益	108,164	16,128
法人税、住民税及び事業税	1,314	8,251
法人税等合計	1,314	8,251
少数株主損益調整前四半期純利益	106,849	7,876
四半期純利益	106,849	7,876

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	106,849	7,876
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	364	15,369
その他の包括利益合計	364	15,369
四半期包括利益	107,214	23,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,214	23,246

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	108,164	16,128
減価償却費	37,110	46,557
固定資産除却損	1,727	—
事業整理損失	—	41,090
持分法による投資損益(△は益)	—	7,407
資金調達費	—	17,600
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21,374	△18,941
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△18,377	△29,449
受取利息及び受取配当金	△107	△387
支払利息	16,389	24,415
トレーディング商品の増減額	△106,265	39,543
顧客分別金信託の増減額(△は増加)	545,000	△543,000
立替金の増減額(△は増加)	23,771	9,556
短期差入保証金の増減額(△は増加)	△136,947	412,861
預り金及び受入保証金の増減額(△は減少)	△495,610	152,645
その他	61,196	120,040
小計	14,678	296,068
利息及び配当金の受取額	107	341
利息の支払額	△11,158	△22,349
法人税等の支払額	△3,679	△2,528
事業整理損の支払額	△46,533	△5,659
事業譲渡損の支払額	—	△21,000
その他	△6,409	△142
営業活動によるキャッシュ・フロー	△52,995	244,730
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,139	△7,952
無形固定資産の取得による支出	△63,000	△66,171
投資有価証券の取得による支出	—	△31,500
貸付けによる支出	—	△30,000
貸付金の回収による収入	—	1,000
事業譲渡による収入	20,626	—
定期預金の払戻による収入	300,000	—
その他	11,017	△1,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	266,503	△135,760
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△105,000	△82,500
長期借入れによる収入	20,000	—
長期借入金の返済による支出	△10,727	△21,579
社債の発行による収入	—	482,400
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△69,323	△29,632
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165,051	348,687
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	48,457	457,657
現金及び現金同等物の期首残高	370,000	444,573
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△4	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	418,453	902,230

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年8月19日付で、第三者割当による転換社債型新株予約権付社債500,000千円を発行しました。当第2四半期連結累計期間において同社債137,500千円が普通株式に転換され、資本金が68,750千円、資本準備金が68,750千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,088,936千円、資本準備金が2,341,229千円となっております。